

## ◆講習会等の開催

# 今漁協青壮年部がやるべきこと

山田 真之

### 1. 目的

一昨年まで普及センターでは漁業青壮年部連絡協議会（通称：漁青連）に加入している13漁協を対象に青壮年部巡回移動相談を行っていたが、漁協青壮年部担当者会議でも交流会開催の提案があり、青壮年部間でお互いの活動内容を知り交流を深めるために今年初めて開催した。なお、今回は漁青連の総会と併せて開催した。

### 2. 開催日及び場所

平成16年9月16日（木）  
沖縄県水産会館5階大会議室

### 3. 内容

漁青連総会終了後、瀬底正武水産試験場普及センター長の挨拶で交流会が始まった。水産分野以外での青年グループ活動を知るために今回は基調講演として沖縄県青年団協議会 伊敷猛会長に講演をお願いした。伊敷会長からは地域のエイサーや清掃活動など青年団が取り組んでいる活動やその取り組み方などについて話して

頂いた。

基調講演後には「現状を踏まえ、これからの青壮年部活動はどうあるべきか」というテーマでミニシンポジウムを行った。コーディネーターに県営農推進課で青壮年部活動をみられている本村主任専門技術員を、パネリストには恩納村漁協指導担当職員の比嘉氏、沖縄市漁協青年部長小嶺氏、伊江村漁協青年部担当宮里氏をむかえて各地での活動報告や意見等報告して頂いた。また今回参加した青壮年部には全部フロア一から活動報告等をしてもらい、フロアを含めた意見交換が行われた。

### 4. 所感

現段階では各地で青年団活動の進め方がわからなかったり、意義が見えなくなって活動が停滞したりしてしまっている。今回のような各地の青壮年部の活動や意見を直接聞くことによりそれぞれの活動が活性化していくことを期待したい。



写真1 基調講演



写真2 意見発表を行う久米島漁協